

## 放送大学名誉教授称号授与規程

平成14年3月6日

放送大学規程第5号

改正 平成18年9月11日、平成20年2月22日、  
令和4年3月16日

(趣旨)

第1条 学校教育法（昭和22年法律第26号）第106条の規定に基づく放送大学名誉教授（以下「名誉教授」という。）の称号授与に関しては、この規程の定めるところによる。

(資格)

第2条 名誉教授の称号は、放送大学（以下「本学」という。）を学長、副学長、教授、特任教授又は特任名誉教授として退職し、かつ、次の各号の一に該当する者に対し選考の上授与する。

- 一 本学に学長、副学長、教授、特任教授又は特任名誉教授として通算10年以上勤務し、教育上、研究上又は大学の運営上特に功績があった者
- 二 前号の年数には達しないが、教育上、研究上又は大学の運営上特に顕著な功績があった者
- 三 本学学長として、特に顕著な功績があった者

(勤務年数の通算)

第3条 本学教授としての勤務年数には、本学准教授としての勤務年数の3分の2の年数を教授勤務年数として加えることができる。ただし、本学教授として5年以上勤務した場合に限る。

(選考)

第4条 名誉教授の選考は、評議会の議に基づき、学長が行う。

(称号の授与)

第5条 本学名誉教授の称号授与は、学長が別記様式の辞令書を交付して行う。

(補則)

第6条 この規程の実施に関し、必要な事項は、評議会の議に基づき、学長が定める。

附 則

この規程は、平成14年3月6日から施行する。

附 則（平成18年9月11日）抄

- 1 この規程は、平成19年4月1日から施行する。
- 2 この規程の規定による改正後の放送大学名誉教授称号授与規程第3条の規定の適用については、この規程の施行前における助教授としての在職は、准教授としての在職とみなす。

附 則（平成20年2月22日）

この規程は、平成20年2月22日から施行し、この規定による放送大学名誉教授称号授与規程の規定は、平成19年12月26日から適用する。

附 則（令和4年3月16日）

この規程は、令和4年3月16日から施行する。

別記様式

第号

氏名

生年月日

学校教育法第百六条の規定により

放送大学名誉教授の称号を授与する

年 月 日

放送大学 印

別記様式

第号	氏名
生年月日	
学校教育法第百六条の規定により	
放送大学名誉教授の称号を授与する	
年月日	
放送大学	印